

## 館林市パブリックコメント募集結果報告書

募 集 案 件		館林市立学校適正規模・適正配置基本方針(案)	
募 集 期 間		令和8年2月2日(月) ~ 令和8年2月25日(水)	
募 集 結 果	提 出 者 数	4人	
	意 見 数	23件	
	提出方法内訳	郵 送 0 件・F A X 0 件・メー ル 2 件・直 接 2 件	
市の対応状況		反 映 さ せ た 意 見 数 : 0 件 反 映 さ せ ら れ な か っ た 意 見 数 : 2 3 件	
意見等の概要と市の考え方			
整理番号	意見等の概要		市の考え方
	別紙のとおり		別紙のとおり
修正概要			
変 更 前		変 更 後	変 更 理 由
問い合わせ： 実施担当課名 教育総務課 電 話 番 号 0276-47-5164 F A X 番 号 0276-74-9677 E - m a i l kyoiku.somu@city.tatebayashi.gunma.jp			

整理番号 (氏名)	意見等	回答
1	遠距離通学となる児童生徒に対し、スクールバス等の配慮をお願いしたい。	通学時の安全対策につきましては、基本方針（案）P.9 に明記しております。学校再編にあたっては、児童生徒の安全と負担軽減などを考慮しながら、スクールバス等の代替交通手段を丁寧に検討してまいります。
2	公聴会（審議会）で説明のあった学校再編校の開校までの期間（5年先等）よりも、可能な限り早期に進めてほしい。	今後の具体的な再編につきましては、保護者や地域住民の皆様のご理解とご協力を得ながら進めることとしております。子どもたちにとってより良い教育環境を早期に実現するため、協議がまとまり次第順次取り組んでまいります。
3	通学時の安全対策に関して、実情（猛暑・防犯）に即した通学基準の見直しや、スクールバス等の柔軟な検討をお願いしたい。	通学時の安全対策につきましては、基本方針（案）P.9 に明記しております。学校再編にあたっては、児童生徒の安全と負担軽減などを考慮しながら、スクールバス等の代替交通手段を丁寧に検討してまいります。
4	市の政策や学校再編などで「このまちで子育てをしたい」と希望を持てる人口減少対策・まちづくりの方向性を提示してほしい。	学校再編では、より良い教育環境を確保することを目的としています。子どもたちが生き生きと学べる教育環境の更なる充実を図ることが、結果として「このまちで子育てをしたい」と思っただけのまちづくりにつながると考えております。
5	現在の委員構成（学校関係者中心）では専門性が不足している。教育政策や都市計画に精通した有識者を登用し、市の総合計画と連動した議論を行うべきである。	基本方針（案）の策定にあたっては、学識経験者、保護者や行政区の代表者、学校長等で構成される審議会にて、教育環境の視点を中心に議論を重ねてまいりました。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
6	提案されているエリア区分は、歴史的な町村合併や行政区のつながり（地区運動会や育成会等）と整合せず、地域活動に新たな分断や支障をきたす恐れがある。	基本方針（案）P.10におきまして、学校・家庭・地域の相互補完的な連携・協働関係の重要性を掲げており、学校再編によって地域との関係が希薄化しないよう、現在の地域とのつながりに配慮することを明記しております。具体的な再編につきましては、検討委員会におけるご意見を聴きながら、慎重に検討してまいります。
7	遠距離通学（スクールバス）への対応や、廃校となる施設の跡地利用・維持管理費用の負担について、具体的な計画が必要である。	遠距離通学への対応につきましては、基本方針（案）P.9 に明記しております。また、跡地利用や維持管理等の課題につきましても、保護者や地域住民の皆様のご理解とご協力を得ながら、検討委員会において一つ一つ丁寧に検討してまいります。
8	学区の現状・改定案の図は、町名入りの詳細地図（A3等）を付けるなど、通学負担が具体的にイメージできる資料にしてほしい。	今後の資料作成等の参考とさせていただきます。
9	学校所在地、現在の在籍者数、将来の減少見込み（例：5年ごと）を簡便な一覧表にして添付してほしい。	該当箇所は、基本方針（案）P.14～P.17に掲載しております。
10	用語や課題（「分散進学による諸問題」「中1ギャップ」「小中連携」「キャリア教育」等）を脚注・注釈で具体的に説明してほしい。	今後の説明時における参考とさせていただきます。
11	図表の表現改善：「分散進学が生じている小学校」の図だけでなく、一括進学の図も併記してほしい。	今後の資料作成等の参考とさせていただきます。
12	将来推移の図（P.12-13等）が直感的に見づらい。小学校と中学校を分けて図示するなど、読みやすくしてほしい。	基本方針（案）の目的に照らし合わせて、必要な情報を示しております。
13	文書のフォントが絵本のように感じる。行政文書として見出しゴシック/本文明朝など定石を踏まえてほしい。図表の色使いも同様。	多くの方にとって読みやすく、わかりやすく情報取得ができるように設計された「ユニバーサルデザインフォント」を活用しております。
14	「教育委員会としましては」を「致しましては」にする等、言い回しを整えてほしい。	ご意見として承ります。
15	「制約」「制限」など負の表現は「縮減」等に、また「伸長」は「発現」等にした方がよい。	ご意見として承ります。

整理番号 (氏名)	意見等	回答
16	「少子化が課題の原因」とする見方に違和感がある。問題は児童生徒数より、教員配置・人手不足などではないか。	教員配置や人手不足への対応も重要な課題と認識しておりますが、基本方針（案）は、少子化に伴う小規模化が教育活動に影響し得る点を踏まえ、学校適正規模・適正配置の考え方と基準を整理するものです。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
17	無償ボランティア頼みではなく、処遇を伴う人材確保のための予算確保・外部調達等を検討すべきである。	基本方針（案）は、学校適正規模・適正配置の基本的な考え方や基準を定めるものです。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
18	小学校で「児童数が少ないと教育が困難」の具体例や基準の根拠をもっと示してほしい。	基本方針（案）では、学校適正規模・適正配置の考え方や基準、参考とした基準等を記載しております。具体例の追加や根拠説明の拡充につきましては、今後の参考とさせていただきます。
19	中学校の「全ての授業で教科担任が望ましい」とは、免許外指導が起きているのか等、実態が分かる説明がほしい。	今後の説明機会における参考とさせていただきます。
20	私立・国公立・支援学校等に通う子もいるので、市立小中だけでなく全体の実態にも触れてほしい。	基本方針（案）は市立小中学校を対象としております。
21	エリア設定で、田谷・四ツ谷等の境界部は通学が大変なので、境界付近は最寄り校を選べるなどの配慮が必要である。スクールバスは窮余の策で望ましくない。	通学距離・通学時間・安全性等を考慮し、適正配置の基準超えの場合は代替交通手段も検討することとしております。
22	遠距離通学と不登校の相関が心配。通学者負担を最優先に考えるべきである。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
23	学校名は番号より地域由来の方が分かりやすく愛着がある。	学校再編が具体化する段階における検討事項のため、ご意見は今後の参考とさせていただきます。